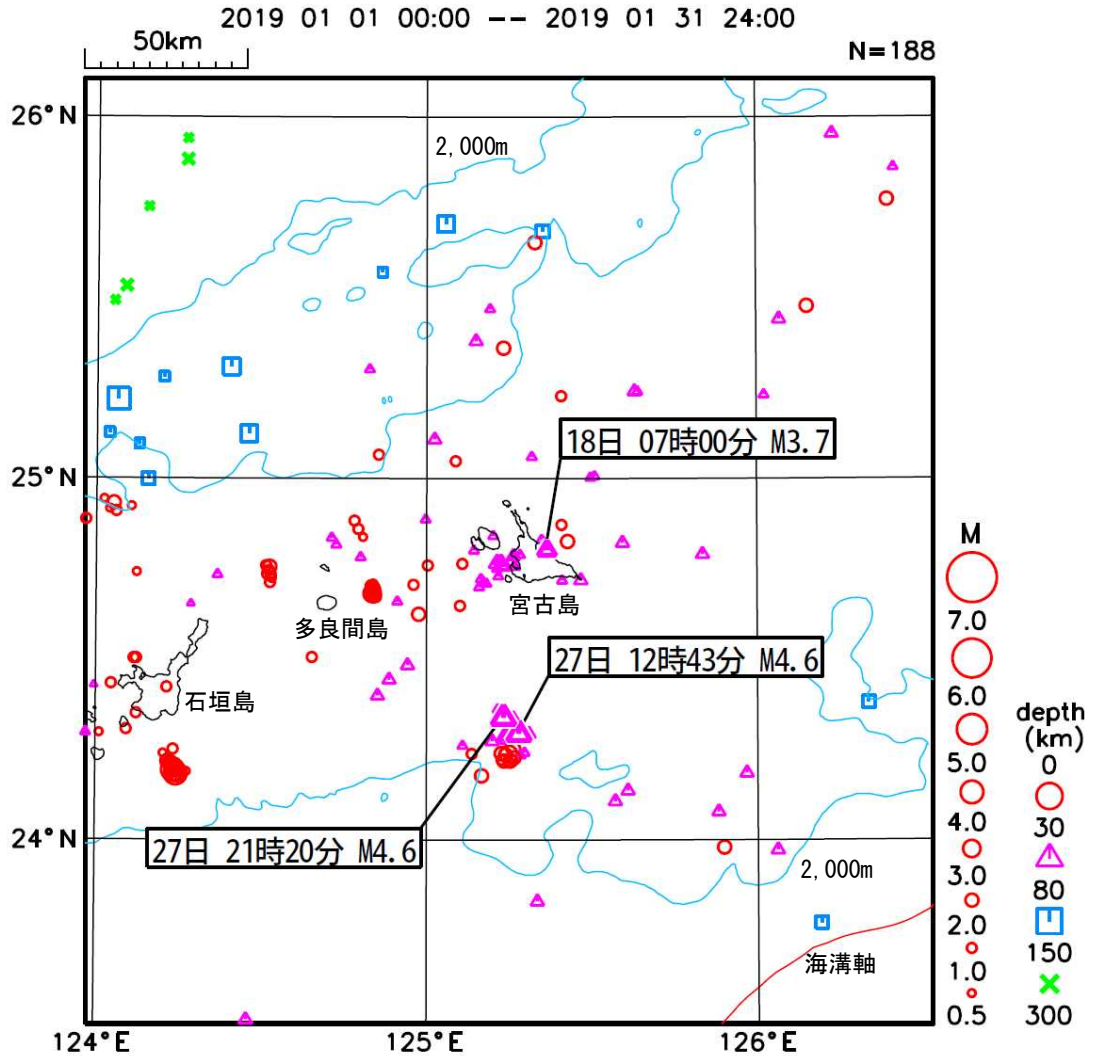


宮古島地方の地震活動図

2019年（平成31年）1月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です。）
管内で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は188回（12月153回）で、震度1以上を観測した地震は3回（12月2回）でした。

18日07時00分に宮古島近海で発生した地震（M3.7 深さ51km）により、宮古島市で最大震度1を観測しました。

27日は、宮古島近海で発生した地震により、12時43分（M4.6）と21時20分（M4.6）に、それぞれ宮古島市で最大震度1を観測しました。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:1月1日~31日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2019年01月18日07時00分 沖縄県 震度 1: 宮古島市上野支所*	宮古島近海	24° 48.0' N	125° 21.8' E	51km	M3.7
2019年01月27日12時43分 沖縄県 震度 1: 宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地*	宮古島近海	24° 17.6' N	125° 16.7' E	44km	M4.6
2019年01月27日21時20分 沖縄県 震度 1: 宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地*	宮古島近海	24° 20.2' N	125° 13.9' E	41km	M4.6

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

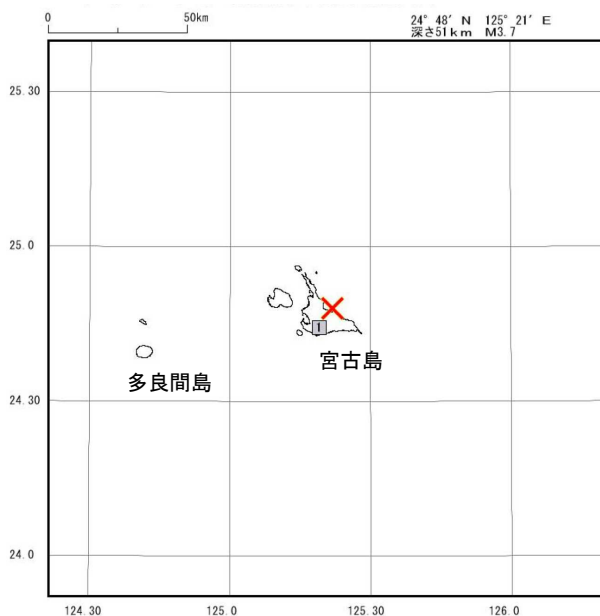
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

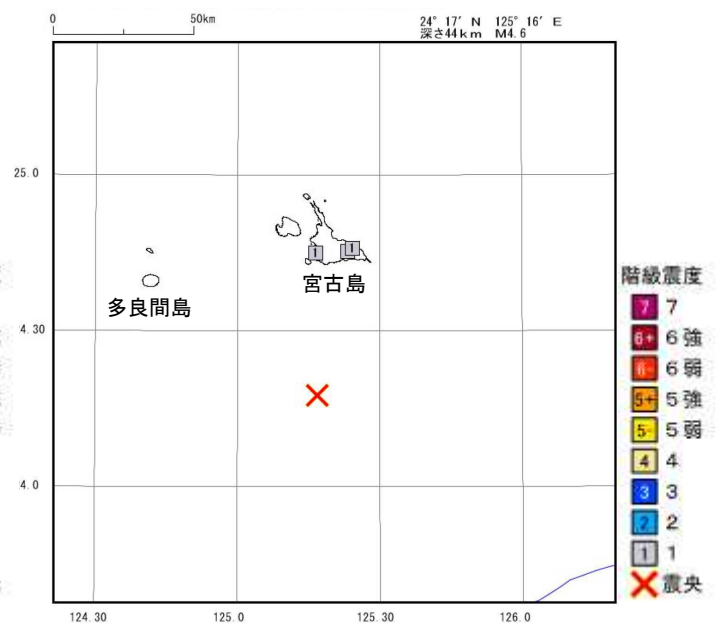
2019年1月18日07時00分

宮古島近海の地震の震度分布図



2019年1月27日12時43分

宮古島近海の地震の震度分布図



2019年1月27日21時20分
宮古島近海の地震の震度分布図

多良間島 宮古島

宮古島地方の震度観測地点

宮古島市平良池間

過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <https://www.jma-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054

(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)

津波から命を守る行動

日本列島に甚大な被害をもたらした「東日本大震災」から間もなく8年が経とうとしています。

この東日本大震災で、大津波に襲われた岩手県釜石市の子どもたちは主体的な避難行動によって自らの命を守ることができました。そこには、長年の防災教育により、自らの命を守る教えがしっかりと身につけていたことが示されています。

釜石市の子どもたちをお手本に、津波から命を守る行動について学びましょう。



津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(気象庁)の1シーン

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/anime.html

津波防災啓発ビデオのポイント

・津波のことを知って備えよう

津波の恐ろしさを知り、高台までの道を考えておきましょう。釜石市の子どもたちは訓練で逃げ方を何度も練習していたので、すばやく安全に逃げることができました。

・自分から進んで逃げよう

誰かが逃げると周りの人も逃げます。まず自分が逃げましょう。それが多くの人の命を救うことにもなります。釜石市では中学生がはじめに逃げたことで、小学生や近所のお年寄りも逃げ始めました。

・もっと安全なところまで逃げられないか考えよう

津波は思っているより大きいかもしれません。釜石市の子どもたちは一度高台に逃げた後もここなら大丈夫と安心せず、もっと高いところへ逃げました。はじめの高台はその後、津波に飲み込まれてしまいました。より高いところへと逃げ続けたことで命を守ることができました。

私たちの住んでいる沖縄地方は周りを海に囲まれており、地震・津波に対しての備えが必要です。地震・津波は突然襲ってきますので、いざという時のための対策を考えておくことが大切です。津波から命を守る行動を忘れず、日頃の訓練や防災対策を通して、災害から自分の身を守る力を養いましょう。